

代表 未来へ向かう希望の令和5年度

市民ネット 質問者・倉部 光世



市民の幸せな生活を守る持続可能なまちづくりのための政策・制度があるときは大胆に、またあるときはきめ細やかに進めることが自治体の役割。ポストコロナ社会、今年度は未来を見据えた希望の年となる。

Q 職員の作業改善10箇条による意識改善はどのように進んでいるか。「健康経営」の取り組み、精神的な疲労、女性特有の健康課題にどう取り組むか。

A あらゆる場面で職員がどうしたらできるかという視点で知恵を出す場面が増えたと感じている。労働安全衛生法に基づき健康診断やストレスチェックを実施、疾病等に応じ休暇制度を整備している。女性の健康課題の男性職員への研修は研究していく。

Q 地域の各種委員、組織、地区センター、コミュニティ協議会等のあり方を見直し役員の負担軽減、交付金の交付方法等を

再検討する必要性は。

A 磐田市は一括交付金の段階的導入や類似事業の整理、地区選出委員の見直しなどに取り組んでおり、持続可能な地域づくりを進める上で本市においても必要な視点である。「コミュニティ協議会が、将来的に自治・まちづくり型に踏み出すためには小規模多機能自治の視点を取り入れ、求められる推進体制を含めた検討を進めていく。

Q 子育てしたいまちを目指し出生数の減少等に対応する独自の施策、生涯を通じて相談できる発達支援窓口開設等どう考えていくか。

A こども医療費助成制度の拡充や子ども家庭センター設置に向け伴走型相談支援、出産・子育て応援ギフトによる経済的支援に取り組む。低所得妊婦に初回産科受診料費用助成事業を開始、経済的負担軽減に取り組む。療育（発達支援）は各ライフステージにおいて支援が途切れな

いようファイル内容見直し、支援先や内容を分かりやすくまとめ周知、関係機関の連携体制を強化していく。

Q 子ども達に直接関わる保育士、保育教諭の待遇改善、教職員の働き方改革、体育館電子キー導入や部活動のあり方は。

A 保育士の働く環境改善支援のノンコンタクトタイムのスペース確保は保育業務と切り分けることができ有効と考えている。国の補助メニューに追加された為、各園に支援制度内容を周知していく。体育館への電子錠導入は、現予約システム更新時期に合わせ導入を進める。部活動は、最新のガイドラインに基づき、地域移行に関する在り方検討会を設置して準備を進める。

Q 気候非常事態宣言、環境に対する施策、自然エネルギー導入、有機・循環型農業推進に対する考え方は。

A 2月13日にゼロカーボンシティ宣言を表明、2050年までにCO2排出量実質ゼロに向け取り組みことを宣言した。地球温暖化対策を推進する国の制度を

整理し、支援策をどのように行えるか検討し、情報提供し、予算の中でも対応していかなければならない。

Q 静岡県パートナーシップ宣誓制度、当市における反映状況は。

A 令和5年3月から市営住宅の入居申込、メモリアルカードの交付、住民票続柄を「縁故者」へ変更、結婚パートナー記念品贈呈等へ反映している。

